

平成31年度 潮田公園コミュニティハウス事業計画書

1 NPO 法人鶴見区民地域活動協会の事業方針

鶴見区民地域活動協会は、鶴見区自治連合会が設立したNPO 法人です。「地域の方々による地域活動の支援」「地域の特性に合った事業」「地域と連携した事業」等の地域に密着した活動を推進しています。これまでの事業をさらに発展させ、地域と一体となった活動を進めていきます。

①地域密着型の施設運営

- ・地域からの職員採用や運営協議会委員の選任により、地域密着型の施設運営を行っていきます。
- ・地域で活動している人材や特技を持つ協会職員を活用した事業展開を推進するため、人材バンクを構築していきます。また、地域活動への職員自らの参加を推奨し、地域との一体感を高めていきます。

②地域のネットワーク力を活かした事業展開と交流促進

- ・自治会・町内会、区老人クラブ、婦人部会など地域を支える団体との連携を強化し、魅力ある事業展開を行っていきます。
- ・ケアプラザ、障害者施設などの近隣施設や小・中学校とも協力することで、幅広い要望に応えることのできる運営を行っていきます。

③地域との協働事業を推進

- ・地区センターが位置するエリアの連合自治会長を担当理事として配置し、自治会・町内会との連携を強化します。
- ・地域との顔の見える関係づくりを深め、地域との協働事業を進めます。
- ・各地区センターは、自治会・町内会、近隣のコミュニティハウスやこどもログハウスと連携し、近隣施設、関係団体との連絡・調整を図り、地域活動の活性化を支援します。

④エリア別運営管理を目指した組織づくり

- ・5つの地区センター（矢向、末吉、寺尾・鶴寿荘、生麦、潮田）を基幹館とするエリアを設定し、近隣のコミュニティハウス、子どもログハウスと連携した事業を展開していきます。
- ・エリア内やエリア間の交流を活発化させることで情報の共有化、自主事業の共同企画化を図り、施設運営の水準を高めた事業展開を実施していきます。

⑤魅力ある自主事業の推進

- ・幼児から高齢者までが参加できる自主事業を実施するために、各施設で実施している事業を総括管理し、事業の種類や経費など施設間で一定水準を維持できる体制を確保していきます。
- ・自主事業の魅力を広めるために、自治会・町内会館などを利用した出前講座を実施していきます。
- ・人気の高い事業は、複数の施設で実施できるように情報共有化を進めていきます。

⑥新刊書・絵本の積極的購入による魅力ある図書貸出し事業の推進

- ・「地域の貸本屋」をモットーに評判の新刊書を多数取りそろえると共に、子育て世代に魅力を感じてもらえる絵本を充実していきます。

⑦利用者や地域の声の聴取と施設運営への反映



地区センター圏域図 (1km)

- ・運営協議会、利用者会議、ご意見箱、施設や街頭でのアンケート等の多様な広聴手段に加え、日常の利用者とのやり取り、自治会・町内会や地域団体との情報交換から得た情報にきめ細かく対応し、利用者目線に立った間の運営を進めていきます。

2 潮田公園コミュニティハウス管理運営の基本方針

潮田公園コミュニティハウスは、主に潮田地区の住民が自主的に活動し相互交流を深める場として利用する施設であり、鶴見区の区政運営方針である「安心」「ぬくもり」「活力」のあるまちづくり対策の実践の場として活用する施設です。

京浜工業地域に隣接し、下町気質で外国人が多く居住している地域であり、コミュニティの醸成、地域連帯の意識形成を図る活動拠点として重要な施設です。また、地域活動、多文化共生、福祉活動の拠点として地域の方に愛され、親しまれる施設であるという認識のもと管理運営を行っていきます。

3 運営体制

(1) 人員体制

館長、主任2名、スタッフは交代制で7名の計10名で施設運営を行います。

2名以上が勤務する体制をとります。

(2) 個人情報保護及び研修体制

「個人情報の保護に関する法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守するよう職員研修を実施します。個人情報の収集は必要最小限とし、適切な管理、目的外利用の禁止など指導を徹底していきます。また、職員のスキルアップのために、本協会主催の研修を始め外部研修に積極的に参加していきます。

(3) 緊急時の体制と対応計画

- ①鶴見区と締結した災害時の施設利用についての協定に基づき対応します。
- ②緊急時には緊急時連絡網に基づき近隣在住職員がすみやかに集合できる体制を確立しています。
- ③潮田公園管理者と合同で防災訓練、AED使用訓練を実施します。
- ④自動販売機は防災ベンダー対応機を設置するとともに、防災備蓄庫を設置します。
- ⑤地元防災拠点の運営委員（地元町会長、学校長）が本施設の運営協議会委員であるので、非常時には臨機に対応が可能な体制を確保しています。
- ⑥危機管理マニュアルに即し職員指導を行っていきます。
- ⑦不審者対策は、防犯システムの設置、小・中学校や少年補導員などとの情報交換・連絡を密にすることで対応していきます。

4 施設の運営計画

(1) 運営内容

地域自治会・協力団体・地域住民が自主的に活動し、相互の交流を深める場としての施設利用の促進に努めます。

①潮田中央・潮田東部地区に密着した活動拠点

- ・地元自治会の活動拠点として支援します。（鶴見あいねっと、ひだまり交流会）
- ・潮田公園管理者との共催事業を実施します。（お楽しみ会・歌声ひろば・七夕飾り）
- ・子育て支援団体を支援・連携を図ります。（子どもと若者の広場）

- ・潮田地区センターを中心に寛政中学校コミュニティハウスと合同で事業を実施します。
- ・地域住民が主催・参加する事業を実施します。

②旧青少年図館書館の実績を生かした図書運営

- ・新刊書・児童書の積極的な購入による魅力ある図書運営を行います。
- ・鶴見中央コミュニティハウスでも図書貸出・返却できるサービス事業を展開します。

(2) 利用促進策

30年度利用者数実績を上回ることを目標に利用者の増加を図ります。

①施設利用促進策

- ・潮田中央・潮田東部地区の自治活動の利用を促進していきます。
- ・自主事業後のサークル化促進などで新規利用団体の誘致を図ります。
- ・自主事業数を50講座以上確保し参加者を増やしていきます。
- ・サークル支援事業でサークルを活性化させ利用者を増やします。

②図書利用促進策

新刊書や児童書を充実させることで貸出し冊数を増加させていきます。

(3) 利用者ニーズの把握と取組み

①利用者ニーズの把握

- ・利用者との交流、利用者アンケートなどを通じて利用者ニーズを把握します。
- ・利用者会議を開催し意見や要望を把握していきます。
- ・運営協議会で意見や助言をいただき施設運営に反映していきます。

②利用者サービスの向上

- ・自治会、老人会、婦人部会などの地域団体が利用しやすい環境を整備します。
- ・手づくり事業の拡大・充実やサークル支援事業の充実を図ります。
- ・絵本コーナー、英語本コーナーを充実していきます。
- ・参加費を低く抑えた自主事業の開催を増やしていきます。

(4) 横浜市重要施策に対する取組み

①図書活動推進事業

新刊書、絵本、英語本を積極的に購入し魅力ある図書事業を推進していきます。

②健康づくり・介護予防

登録サークル共催による健康体操を実施します。

③子育て支援の場や機会の充実

子育て中の親子が気軽に利用できる居場所づくりを推進します。

お楽しみ会、読み聞かせ、親子サロンなどを実施します。

④子ども・青少年の健全育成に向けた地域連携の推進

子どもが楽しく遊べる場の提供や子供向け事業を進めます。

⑤参加と協働による地域自治の支援

地域活動の拠点として潮田地区センター、寛政中学校コミュニティハウスと連携し、地域の課題・情報の共有化を図ることで地域活動団体を支援していきます。

⑥文化芸術活動の支援

利用者作品展、ダンス&健康フェアなどを開催します。

5 自主事業計画

(1) 自主事業の充実に向けた対策

- ・人気の高い講座は継続すると共に、地域の特性を考慮した新企画の講座を増やしていきます。
- ・施設共通の課題や人気度の高い講座などは、協会企画の自主事業として実施していきます。

(2) 自主事業の基本的な分類

①子育て支援・高齢者交流事業

子育て親子や高齢者が楽しく参加・交流できる事業を提供します。

②手作り事業

潮田地区センター、潮田公園・寛政中学校コミュニティハウスと連携し、潮田地区を対象とした共通講座、出前講座を実施します。

③サークル支援事業

登録団体がサークルの活性化を図れるような講座を企画していきます。

④外部依頼事業

専門的技術を要する講座は外部講師に依頼し、幅広いニーズに対応できる講座を企画します。

⑤他団体共催事業

自治会町内会、地縁団体と共同で地域住民が交流できる事業を実施します。

6 施設の維持管理計画

安全・快適な環境維持及び長寿命化の観点から施設の維持管理に努めます。

①建築物保守・設備機器・環境衛生管理

- ・専門業者に委託し法令に基づく定期点検、年次点検を実施します。
- ・職員が「点検表」に基づき日常点検を実施し早期発見・早期対応に努めます。

②清掃業務

- ・専門業者に委託し、日常清掃、定期清掃を実施します。
- ・職員が開館前、閉館前に日常清掃を、開館時間内は汚れた時に随時清掃を行います。

③保安警備

- ・開館時間内は職員が巡回警備を行います。
- ・防犯カメラによる監視や警備会社に夜間、休日の警備を委託します。

④廃棄物処理

- ・利用者にごみの持ち帰りをお願いすることで、施設から発生する廃棄物を減らしていきます。
- ・横浜市ごみゼロルート回収にて廃棄物を処理します。

⑤修繕

- ・修繕費を平準化するために、修繕計画を作成し修繕を実施します。
- ・突発的に発生する修繕は、地域業者に依頼することで迅速に対応します。

⑥外構、植栽管理

- ・専門業者に委託し、外構清掃、害虫駆除、樹木剪定を実施します。
- ・雑草除去は、日常清掃業者または職員が実施します。

平成31年度 自主事業 計画書

募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)
				募集人数 (人)	延参加 人数(人)	委託料支 出総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収の 有・無	参加費用 (円)	1回1講師 あたり (円)	1教室講師 謝金額 (円)	
親子	子育て支援(お楽しみ会)	年6回	6	20組	240	13,000	0	13,000	無	0	0	0	潮田公園共催
親子	子育て支援(ママカフェ)	毎月1回	12	15組	360	15,000	36,000	51,000	有	200	0	0	3B体操・子育て相談会共催
親子	子育て支援(ちびっこルーム)	年6回	6	15組	180	25,000	0	25,000	無	0	0	0	
親子	子育て支援(潮田KIDSクラブ)	年6回	6	20組	240	10,000	0	10,000	無	0	0	0	潮田公園と共催
子ども～大人	子どもと若者のひろば	毎月2回	24	自由参加	1,000	0	0	0	無	0	0	0	子育て個別ちフォーラムと共催
子ども～大人	ワックンカルタ大会	2月	1	30名	30	5,000	0	5,000	無	0	0	0	子育て個別ちフォーラムと共催
子ども～大人	母の日プレゼント	4月	1	10名	10	3,000	0	3,000	無	0	0	0	
子ども～大人	父の日プレゼント	5月	1	10名	10	3,000	0	3,000	無	0	0	0	
子ども～大人	七夕短冊飾り	7月	1	自由参加	100	3,000	0	3,000	無	0	0	0	潮田公園と共催
子ども～大人	七夕飾り	7月	1	20名	20	5,000	0	5,000	無	0	0	0	ひだまり共催
親子	簡単おやつ作り	7月	1	20名	20	5,000	0	5,000	無	0	0	0	M'Sキッチン共催
子ども～大人	夏休みこども工作(紙粘土)	8月	1	10名	10	3,000	0	3,000	無	0	0	0	
子ども～大人	敬老の日プレゼント	9月	1	10名	10	3,000	0	3,000	無	0	0	0	
子ども～大人	クリスマス工作	12月	1	10名	10	3,000	0	3,000	無	0	0	0	
成人	折り紙教室(飾り兜作り)	4月	1	10名	10	6,000	5,000	11,000	有	500	5,568	5,568	
成人	クラフトバッグ作り	4月	2	10名	20	6,000	10,000	16,000	有	1,000	3,341	6,682	
成人	寄せ植え(春)	5月	1	10名	10	6,000	13,000	19,000	有	1,300	6,125	6,125	
成人	あじさい染め教室	5月	1	10名	10	6,000	5,000	11,000	有	500	5,568	5,568	
成人	抱き人形作り	5月	4	10名	40	2,000	16,000	18,000	有	1,600	0	0	
成人	着物リフォーム	6月・11月	8	10名	80	8,000	50,000	58,000	有	2,500	5,568	44,544	
成人	歌声ひろば	6月・12月	2回	50名	100	12,000	0	12,000	無	0	0	0	
成人	ハーバリウム	6月	1	10名	10	2,000	15,000	17,000	有	1,500	0	0	
成人	布ぞうり	7月	1	10名	10	2,000	4,000	6,000	有	400	0	0	
成人	藍染教室	8月	1	10名	10	6,000	10,000	16,000	有	1,000	5,568	5,568	
成人	古布の十五夜飾り	8月	4	10名	40	23,000	25,000	48,000	有	2,500	5,568	22,272	
成人	和菓子作り	9月・1月	2	10名	20	0	30,000	30,000	有	1,500	0	0	いいだやさん共催
成人	寄せ植え(秋)	9月	1	10名	10	3,000	16,000	19,000	有	1,600	0	0	お花屋さん共催
成人	パソコン講座(スマホ入門)	9月	4	20名	80	6,000	40,000	46,000	有	2,000	11,000	44,000	パソコンボランティア共催
成人	健康ダンス&発表会	10月	1	30名	30	10,000	0	10,000	無	0	0	0	
成人	羊毛フェルト教室	10月	2	10名	20	0	10,000	10,000	有	1,000	0	0	

(様式5)

成人	朗読入門	10月	2	10名	20	0	2,000	2,000	有	200	0	0	
子ども～大人	作品展	11月	1	自由参加	400	25,000	0	25,000	無	0	0	0	展示用備品、体験講座材料費
子ども～大人	作品展茶道・体験講座	11月	1	80名	80	15,000	24,000	39,000	有	300	5,568	5,568	茶道体験講座(講師1名、お茶79名分)
子ども～大人	作品展共催事業・朝採れ野菜・サークル体験	11月	1	自由参加	80	0	0	0	無	0	0	0	潮田公園と共催
成人	クリスマス飾り	12月	1	10名	10	2,000	4,000	6,000	有	0	0	0	
成人	和風作り	12月	1	10名	10	4,000	6,000	10,000	有	600	3,341	3,341	
成人	干支(ねずみ)作り	12月	1	10名	10	3,000	1,000	4,000	有	100	3,341	3,341	
成人	たこ作り・たこあげ大会	1月	1	30名	30	5,000	0	5,000	無	0	0	0	
成人	プリザーブドフラワー	1月	1	10名	10	2,000	15,000	17,000	有	1,500	0	0	
成人	キムチ作り	2月	2	15名	30	3,000	27,000	30,000	有	900	0	0	
成人	英会話教室	3月	3	10名	30	6,000	10,000	16,000	有	1,000	5,568	16,704	国際学生会館共催
成人	演奏会	3月	1	30名	30	6,000	0	6,000	無	0	5,568	5,568	
成人	サークル支援	年10回	10	10名	100	5,000	0	5,000	無	0	0	0	サークル支援(材料費含む)
60歳以上	バーバママ(小物作り)	年6回	6	10名	60	12,000	24,000	36,000	有	400	3,341	20,046	
成人	ペーパーフラワー(花作り)	年6回	6	10名	60	6,000	18,000	24,000	有	300			
成人	楽々カラオケ(憩いの場)	毎月1回	12	15名	180	0	0	0	無	0	0	0	
			147		3,880	288,000	416,000	704,000				194,895	

* 自主事業に要した総経費は、指定管理料(自主事業費)から充当した額と参加費から充当した額等の合計となります。

平成31年度 「潮田公園コミュニティハウス」 収支予算書兼決算書
(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	20,897,000		20,897,000		20,897,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	416,000		416,000		416,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	240,000	0	240,000	0	240,000	
印刷代	50,000		50,000		50,000	
自動販売機手数料	180,000		180,000		180,000	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他 (広告ラック収入・預金利息)	10,000		10,000		10,000	
収入合計	21,553,000	0	21,553,000	0	21,553,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,777,000	0	12,777,000	0	12,777,000	
給与・賃金	12,100,000		12,100,000		12,100,000	館長・副館長及び時給職員10名
社会保険料	520,000		520,000		520,000	
通勤手当	80,000		80,000		80,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	24,000		24,000		24,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	53,000		53,000		53,000	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	1,533,000	0	1,533,000	0	1,533,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	出張旅費
消耗品費	420,000		420,000		420,000	事務消耗品費
会議賄い費	60,000		60,000		60,000	諸費を含む
印刷製本費			0		0	
通信費	170,000		170,000		170,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	120,000	0	120,000	0	120,000	
横浜市への支払分	21,000		21,000		21,000	目的外使用料 (自動販売機設置)
その他	99,000		99,000		99,000	リース経費等
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	360,000		360,000		360,000	
施設賠償責任保険	5,000		5,000		5,000	
職員等研修費	6,000		6,000		6,000	
振込手数料	2,000		2,000		2,000	
リース料	180,000		180,000		180,000	
手数料	100,000		100,000		100,000	
地域協力費			0		0	
事業費	704,000	0	704,000	0	704,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	704,000		704,000		704,000	
自主事業費			0		0	
管理費	3,503,000	0	3,503,000	0	3,503,000	
光熱水費	1,771,000	0	1,771,000	0	1,771,000	
電気料金	950,000		950,000		950,000	
ガス料金	650,000		650,000		650,000	
水道料金	171,000		171,000		171,000	
清掃費	720,000		720,000		720,000	日常・定期清掃費
修繕費	392,000		392,000		392,000	
機械警備費	210,000		210,000		210,000	
設備保全費	410,000	0	410,000	0	410,000	
空調衛生設備保守	120,000		120,000		120,000	
消防設備保守	40,000		40,000		40,000	
電気設備保守	40,000		40,000		40,000	
害虫駆除清掃保守	40,000		40,000		40,000	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	170,000		170,000		170,000	コピー機保守費等
共益費			0		0	
公租公課	1,364,000	0	1,364,000	0	1,364,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,364,000		1,364,000		1,364,000	
印紙税			0		0	
その他 ()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	1,672,000	0	1,672,000	0	1,672,000	
本部分	1,672,000		1,672,000		1,672,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	21,553,000	0	21,553,000	0	21,553,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成31年度潮田公園コミュニティハウス自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p>地域特性、地域ニーズ</p> <p>①子育て世代の交流事業(子育て支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ママカフェ(12回)・お楽しみ会&読み聞かせ(12回) <p>②子どもの交流事業(子ども居場所づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと若者の広場(24回) <p>③高齢者交流事業(高齢者支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バーバママ小物づくり(6回)・健康体操(12回) <p>④図書貸出し推進事業(図書館機能の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新刊書(200冊購入)絵本(50冊購入) <p>⑤外国籍の交流事業(多文化交流・居場所づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会・潮田小・中学校との共催交流事業 			
	<p>公の施設としての管理</p> <p>①団体利用の申込みの円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か月前受付け、要望を最大限考慮したスケジュール調整 <p>②自治会等の地域活動利用を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人会、民生委員会活動等への支援(会議室予約支援) <p>③利用者ニーズの実態把握と運営への反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート集計⇒データ解析⇒事業反映(年度末報告) <p>④さわやか・清潔・整頓された施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BGM演奏のお出迎え(常時)、植木鉢で花飾り(常時) <p>⑤多目的室の有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動利用(午前)、子どもの居場所開放(午後、休日)、子どもと若者の広場使用、図書閲覧、展示会開催などに利用 <p>⑥利用者とのコミュニケーションを大切にする接遇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわやか挨拶・親切な対応(常時) <p>⑦目で見える自主事業のお知らせ</p>			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際を作る作品を展示（自主事業の手芸作品は全展示） ・ わかりやすいチラシの掲示（全事業を館内掲示） 			
	<p>利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <p>◎利用者ニーズ把握</p> <p>①利用者とのコミュニケーションを密にする</p> <p>②利用者会議の実施（1～2回）</p> <p>③利用者アンケート実施・ご意見箱を設置</p> <p>④催し参加団体の会議実施（1回）</p> <p>⑤入館者集計（毎月）、統計処理（年度末）</p> <p>◎運営への反映</p> <p>①運営協議会開催（1回）</p> <p>②施設要望・苦情の把握（常時）</p> <p>③自主事業の精査・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者数、利用者要望から判断（自主事業実施後） <p>④図書購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 購入希望の多い図書の把握・購入 新刊書（200冊購入）絵本（50冊購入） 			
	<p>利用者サービス向上の取組</p> <p>①地域団体利用の促進（年50回）</p> <p>②自主事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手づくり事業の拡大・充実（昨年度より増） ・ サークル支援事業の充実（昨年度より増） <p>③図書利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本コーナーの充実（新刊50冊購入） ・ 読み聞かせ事業の充実（12回・延べ150組参加） 			
業務運営	<p>管理運営に必要な組織、人員体制</p> <p>①夜間を2名体制で勤務。施設運営を実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯対策、図書管理、手作り事業の材料加工作業、夜間清掃などの充実 			
	ウ 緊急時の体制と対応計画			

<p>①防犯カメラを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間、施設前の公園の不審者を監視できる体制を確保 			
<p>設置理念を実現する運営内容</p> <p>①潮田中央・潮田東部地区の自治活動の利用を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鶴見・あいねっと潮田中央地区集い ・ 潮田中央地区保健活動推進委員会 ・ ひだまり交流会（潮田中央地区連合会） ・ 潮田中央地区保護司会 ・ 潮田中央、東部地区消費生活推進委員会 ・ 潮田2丁目総会・老人会・子ども会 ・ 潮田神社祭り（地域住民の休憩施設として開放） <p>②子ども支援団体と連携し活動を充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アソviva子どもと若者のひろば事業（月2回） ・ ワックンカルタ大会開催（1回） 地元学生ボランティアの協力依頼（必要時） <p>③潮田公園管理者との共催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お楽しみ会（子育て親子が楽しめる催し）（月1回） ・ 歌声ひろば（高齢者などが楽しく集える催し）（年2回） ・ 七夕飾り（来館者が短冊に願いを書く催し）（7月に1週間） ・ 防災訓練（地域住民を招き全員で訓練）（1月実施） 			
<p>利用促進策</p> <p>①会議室の利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議室稼働率2%高める ・ サークル支援事業の推進のため自主事業開催（10団体） ・ 空き時間に自主事業を開催（年間利用室数 150回） ・ 夜間会議室利用キャンペーン（常時） ・ 夜間会議室利用率（50%確保） <p>②図書利用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書貸出し冊数の前年度増 ・ 新刊図書を購入（年間 200冊） ・ 絵本を購入（年間 50冊） ・ 鶴見中央コミュニティハウス図書貸出冊数（前年度増） <p>③利用者数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者人数（前年比 5%増） 			
<p>本市重要施策に対する取組</p> <p>①健康づくり・介護予防を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康体操発表会開催（10月） 			

<ul style="list-style-type: none"> ・健康体操サークル支援の自主事業開催(4回) 	<ul style="list-style-type: none"> ②地域における子育て支援の場や機会を充実 <ul style="list-style-type: none"> ・母親の情報交換の場を提供⇒ママカフェ潮田(月1回) ・親子でモノづくりふれあい交流⇒お楽しみ会(月1回) ・本を読む習慣をつける⇒電子絵本で読み聞かせ(月1回) 			
	<ul style="list-style-type: none"> ③子ども・青少年の健全育成に向けた支援をします。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが楽しく遊び・学べる場の提供 <ul style="list-style-type: none"> ⇒子どもと若者のひろば事業(年24回実施) ⇒多目的室を放課後・休日キッズサロンとして開放(毎日) ④住宅・建築物の温暖化対策を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯を省エネ蛍光ランプに変更し省エネ対策を実施 ・壁面緑化で日差しを遮る(7月) ⑤市民の文化芸術活動を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者作品展、健康体操・ダンス発表会を開催 ⑥廃棄物の減量化と分別を徹底します。 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜3R夢プランに沿った廃棄物の分別・資源化を推進 			
	<ul style="list-style-type: none"> ①サークル支援事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・健康体操、各種手芸、茶道サークル支援(10団体) ②職員手作り事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパークラフト、ビーズ、記念日プレゼント、プリザーブドフラワー、キムチづくりなど(20回) ③子育て支援事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ママカフェ、お楽しみ会、電子読み聞かせ(各12回) ④高齢者交流事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・歌声ひろば、布手芸・クラフトづくりなど(60回) ⑤外部講師に依頼する自主事業 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン、洋服リフォーム、染め物、折り紙など(6事業) ⑥他団体と共催事業を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと若者の広場、防災訓練、お楽しみ会、生花アレンジメント(4事業38回) 			

	<p>施設の維持管理計画</p> <p>①建築物保守管理・設備機器管理・環境衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門業者点検 ⇒ 法令に基づく定期点検 (2~3 回/年) ・職員点検 ⇒ 「チェック表」に基づき点検 (毎日) <p>②清掃業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門業者による清掃 ⇒ 日常清掃 (4 日/週) 定期清掃 (3 回/年) ・職員による清掃 ⇒ 開館前、閉館前に日常清掃 (毎日) 開館時間内は汚れた時に清掃 (随時) <p>③保安警備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備会社による警備 ⇒ 夜間、休日の機械警備による監視 ・職員による警備 ⇒ 開館時間内の巡回監視 ・防犯カメラ設置 ⇒ 施設内外の不審者を監視 <p>④備品管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に物品数・状態等をチェック (年 2 回) ・貸出物品⇒貸出前後に状態をチェックし貸出し (随時) 			
職員育成	<p>管理運営に必要な組織、人員体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自前自主事業に必要な職員配置 (3 名以上出勤 80 日) 			
	<p>個人情報保護等の体制と研修計画</p> <p>◎個人情報保護の体制</p> <p>①職員への周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「個人情報取扱特記事項」を基に職員への研修 (4 月) ・「個人情報保護に関する誓約書」で誓約し、個人情報遵守の責任を周知 (4 月) ・ミーティングで個人情報管理を周知 (毎回) 			
	<p>②適切な管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書、帳票類、データ媒体等は、施錠できる場所に保管 ・パソコンにはパスワードを設定 ・不要となった個人情報はシュレッダーで廃棄 ・個人情報は施設外への持ち出しを禁止 			

	<p>③収集の制限</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者から収集する個人情報は必要最低限に限定 <p>④目的外利用の禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業で把握した個人情報は、目的外利用を禁止 <p>⑤複写・複製の禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複写・複製は原則禁止とし、事務効率のために一時的に複写・複製しても事務終了後廃棄 <p>◎研修計画</p> <p>①新採用スタッフ研修(4月)</p> <p>②個人情報保護(4月)</p> <p>③人権研修(12月)</p> <p>④防災訓練・AED研修(1月)</p> <p>⑤全体研修(12月)</p> <p>⑥行政研修・その他研修(適宜)</p>			
財務	<p>施設の維持管理計画(効率化の工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ対応の蛍光灯変更により照明電気量の削減 			
	<p>収入計画の考え方</p> <p>指定管理料とその他収入から立案</p> <p>①管理費(光熱水費、清掃、修繕、設備保全等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設が適切に管理できる予算配分(20%) <p>②人件費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営に必要な人員が確保できる予算配分(50%) <p>③事務費(消耗品、備品、図書費等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営が効果的に執行できる予算配分(8%) <p>④事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業50講座が確保できる予算配分(3%) ・自主事業費は参加者に過度の負担のかからない範囲で徴収 			
	<p>増収策</p> <p>①謝金が発生しない職員の手作り事業を増やす(全事業の50%)</p> <p>②謝金が発生する自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者に過度な負担をかけない範囲で謝金も参加費に含める ・自主事業にかかる材料費は参加者負担とする。 <p>③自主事業数を50講座実施することで事業収入の増加を図る</p>			

	④印刷費の増収を図る(前年度比3%増)		
	支出計画 ①支出計画の考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算書に基づき支出を実行 ・ 予算を上回る修繕等が発生した場合、当協会の資金で対応 ・ 自主事業費は参加者に過度にならない参加費を設定 ・ 設備・備品の充実を図る ②支出の効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品は、品質・価格競争で優位な品物を購入 ・ 本協会のスケールメリットを生かし、協会での一括購入、不用品の施設間利用など経費の削減に努める ・ 職員手作り事業・サークル支援事業など謝金のない自主事業を積極的に導入(全事業の70%) 		
	ニーズ対応費の使途(地区センターのみ) なし		
その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)	・ 目標設定の視点に基づく目標を記載		
利用者等の意見	利用者等の意見の把握方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者会議、運営協議会、利用者アンケート、モニター会議、ご意見箱 主な意見、要望	意見、要望に対する対応	

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組(改善計画)欄に意見等に対する対応を記載